



群馬大学 (群馬県)

小中学校の教員養成、学校教育制度、地域の特徴を生かした実践的指導・教育方法を学べます。

◇大学紹介

①大学の概要

群馬大学は、東京から北西に約100kmに位置し、共同教育学部、情報学部、医学部、理工学部、生体調節研究所、附属図書館、医学部附属病院、グローバルイニシアチブセンター等の学部等から構成されている。

学部の教育、研究を基礎として、大学院及び専攻科が設置されており、教育学研究科（専門職学位課程）、情報学研究科（修士課程）、医学系研究科（修士課程、博士課程）、保健学研究科（博士前期課程、博士後期課程）、理工学府（博士前期課程、博士後期課程）、パブリックヘルス学環（修士課程）、医理エリギュラトリーサイエンス学環（修士課程）の5研究科2学環及び特別支援教育特別専攻科が置かれている。

共同教育学部は、グローバルに物事をとらえながら、未来社会を支える人間を育成するために、人間の発達と成長を主な対象として教育の目的、方法、内容などについて理論的・実践的な教育・研究を進めている。共同教育学部には、教員養成を主たる目的とする学校教育教員養成課程があり4系・13専攻に分かれながら、深い専門性と実践的な指導方法を身に付ける。

2024年5月1日現在で、学生数は下記のとおり。

学部学生：5,032人（共同教育学部：825人）

大学院学生：1,313人（教育学研究科：50人）

②国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2024年度：240人 2024年5月1日現在

2023年度：222人 2023年5月1日現在

2022年度：223人 2022年5月1日現在

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2024年度：0人

2023年度：0人

2022年度：0人

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色

群馬大学では、小中学校の教員養成、学校教育制度、地域における多文化共生に関することを専門的に学ぶことができる。研修生は、専攻やキャリアに応じて、適切な研究室に配属され、教師を目指す学生とともに高い専門性と実践的な指導方法を学ぶ。

②受入定員：12人

③奨学金支給期間：2025年10月～2027年3月

④コースの修了要件

指導教員による授業、ゼミを受講し、共同教育学部附属学校園等での参観及び他の教育施設等における実地研修などを通じて、国際的な視野を広げるとともに深い専門性と実践的な指導方法を身に付ける。なお、指導教員によって異なるが、概ね60時間の授業、ゼミ等を受講する。

⑤研修コースの概要

・日本語教育

日本語能力がN2受験レベル程度の学習者を対象として、2025年10月から、専門分野で円滑に研究活動が行えるレベルに日本語能力を高めるための集中日本語コースを開講する。開講期間は2025年10月から2026年2月までの16週間で、週5日間、1日あたり3コマ程度の講義を受講する。N2受験レベルに満たない学生は、オンラインで実施する日本語補講コースを、週3コマ程度受講することができる。

ただし、このコースは日常生活のために必要な日本語レベルの習得を目標としているため、日本語補講コースを履修する場合は、英語での研究指導が受けられる必要がある。

なお、来日時にすでにN2レベル以上である学生や、上記集中コースを修了した学生も、更に日本語能力を高めたい場合は、学部留学生等を対象に開設されている日本語科目を受講することができる。

・専門教育

留学生が希望する研究テーマを考慮して、指導教員が責任を持って個別指導を行う。指導教員による授業、ゼミを受講することが求められる。なお、希望すれば研究分野以外の講義等の受講も認める。またチューター制度を活用することができる。

英語による授業は行っていないが、講義、演習、個別指導、生活面での助言等で英語を補助的に使う場合がある。

・見学・地域交流等の参加型科目、その他

受入研修生の身分は研究生であり、単位の認定は行わない。共同教育学部附属学校（幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校）への訪問、実習見学など学内外での活動も行われる。全学の留学生を対象とした実地研修旅行や、小学校での国際理解の授業の参加など各種の交流行事がある。

◇修了生へのフォローアップ

SNSサイトで本学の国際交流に関する情報提供を行うほか、修了生の近況把握にも努めている。また、本学のアカウントを起点に、修了生たちがサイト内外で交流することも期待している。修了生から本学教員への質問などにも対応する。

◇宿 舎

○宿舎数

- ・ 単身用 23室（前橋のみ）
- ・ 夫婦用 なし
- ・ 世帯用 なし

○宿舎費 5,900円/月

○共益費 2,000/月

○保証料入居時 20,000円

○宿舎設備・備品

部屋の面積は15 m²、バス、トイレ、台所あり。備品は机、ベッド、冷蔵庫、エアコン、クローゼット

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

近隣に大型スーパーあり。大学までは4 km離れており、自転車30分で通学可能。

上記宿舎は満室の場合が多く、入居できない場合には、大学付近の民間アパートを紹介する。民間アパートの部屋代は30,000円/月程度。冷蔵庫、洗濯機など大型の生活必需品は備えてある。大学まで徒歩5分程。近くに食料品・生活用品店、郵便局、コンビニエンスストア有。

◇問合せ先

大学所在地 群馬県前橋市荒牧町4-2
担当部署 学務部海外交流課
連絡先 TEL +81 27 220 7637
FAX +81 27 220 7630
E-mail intl-office@ml.gunma-u.ac.jp
ホームページアドレス
(大学) <https://www.gunma-u.ac.jp/>
(グローバルイニシアチブセンター・学生交流) <https://www.guic.gunma-u.ac.jp/>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
11001	小林 英樹 教授	hidekoba@gunma-u.ac.jp	現代日本語学	国語教育 [日本語の語彙・文法]	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員 ☐ その他（ ）	日本語	1人	授業に参加するのに十分な日本語能力（読み、書き、話し、聞く力）を備えていること、大学において希望する専門分野を学んだ者
11002	小谷 英生 准教授	hideokotani@gunma-u.ac.jp	哲学・倫理学	社会科教育 [教育社会学]	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員 ☐ その他（ ）	日本語・英語・ドイツ語	1人	日本語能力、大学卒
11003	澤田 麻衣子 准教授	sawada.maiko@gunma-u.ac.jp	数学教育学	数学教育 [数理認識、教材開発]	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員 ☐ その他（ ）	日本語	1人	日本語能力、大学卒
11004	益田 裕充 教授	masuda@gunma-u.ac.jp	理科教育学	理科教育 [授業デザイン]	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員 ☐ その他（ ）	日本語	1人	日本語での日常会話に支障ないこと、学部（該当分野）卒相当
11005	吉田 秀文 教授	hidefumi@gunma-u.ac.jp	音楽教育学	音楽教育 [音楽教育学の理論と実践]	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員 ☐ その他（ ）	日本語	1人	日本語能力、大学卒
11006	菅生 千穂 准教授	c-sugo@gunma-u.ac.jp	器楽	音楽教育 [クラリネット、管弦打楽器、和楽器（箏）]	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員 ☐ その他（ ）	日本語	1人	日本語での日常会話に支障ないこと、学部（該当分野）卒相当
11007	林 耕史 教授	hayashi@gunma-u.ac.jp	彫刻	美術教育 [彫刻 木彫・塑造]	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員 ☐ その他（ ）	日本語	1人	日本語能力、大学卒
11008	喜多村 徹雄 准教授	kitamura1976@gunma-u.ac.jp	絵画	美術教育 [絵画、現代美術]	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員 ☐ その他（ ）	日本語	1人	日本語能力、大学卒
11009	木山 慶子 教授	kkiyama@gunma-u.ac.jp	体育科教育学	体育科教育 [体育科教育学の理論と実践]	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員 ☐ その他（ ）	日本語	1人	日本語での日常会話に支障ないこと、学部（該当分野）卒相当
11010	田中 麻里 教授	mari@gunma-u.ac.jp	住居学	家庭科教育 [住居学・防災教育]	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員 ☐ その他（ ）	日本語・英語	1人	日本語または英語での日常会話能力、大学卒
11011	渡部 孝子 教授	wat@gunma-u.ac.jp	英語・日本語教育	英語教育 [年少者への英語教育] 日本語教育 [外国語としての日本語教育]	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員 ☐ その他（ ）	日本語・英語	1人	日本語能力、大学卒
11012	大島 みずき 准教授	mi-oshima@gunma-u.ac.jp	発達心理学	幼児期・児童期の社会性の発達	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員 ☐ その他（ ）	日本語	1人	日本語能力、大学卒

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。